

事務事業名		防犯灯設置事業		<input type="checkbox"/> 実施計画掲載事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略掲載事業																															
政策体系	政策名	05 やすらぎある安全なまちづくりの推進		事業期間		予算科目																															
	施策名	18 市民生活に身近な安全の確保		区分		会計	款 項 目 事業																														
	基本事業名	03 防犯対策の推進		単年度繰返		01	08 01 01 0700																														
根拠法令		-		※期間欄に開始年度を記入																																	
所属	部課名	都市整備部建設課		【開始年度】		事務事業区分																															
	課長名	長岩 智徳		-		B 施設整備																															
	係名	道路管理係	電話	0192-27-3111																																	
	担当者	後藤 俊太	内線	318																																	
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(※期間限定複数年度のみ)																															
<p>防犯灯の設置にあたり、市内地域公民館等に設置要望(箇所)を募り、要望多数の場合は関係者で現地調査等を行い、設置箇所を選定する。設置箇所が決まったら、市内電気工事業者から仕様書に基づく見積りを徴し、廉価業者に発注し、消耗品費として支出する。</p> <p>なお、設置後の電気料金の支払い等の維持管理は、地域公民館等で行っている。</p> <p>平成21年度からは、維持管理コストの低いLED防犯灯を設置している。</p>						<table border="1"> <tr><td>総投入量</td><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>事業費</td><td>都道府県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>財源内訳</td><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>一般財源</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>事業費計(A)</td><td>0</td></tr> <tr><td>人件費</td><td>正規職員従事人数</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>延べ業務時間</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>人件費計(B)</td><td>0</td></tr> <tr><td></td><td>トータルコスト(A)+(B)</td><td>0</td></tr> </table>		総投入量	国庫支出金		事業費	都道府県支出金		財源内訳	地方債			その他			一般財源			事業費計(A)	0	人件費	正規職員従事人数			延べ業務時間			人件費計(B)	0		トータルコスト(A)+(B)	0
総投入量	国庫支出金																																				
事業費	都道府県支出金																																				
財源内訳	地方債																																				
	その他																																				
	一般財源																																				
	事業費計(A)	0																																			
人件費	正規職員従事人数																																				
	延べ業務時間																																				
	人件費計(B)	0																																			
	トータルコスト(A)+(B)	0																																			

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		名称	
地域からの要望を受け、防犯灯の配布を行った。		ア	防犯灯設置要望件数
			単位
		イ	防犯灯設置数
		ウ	
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
地域等の要望を踏まえて設置する。		名称	
防犯灯具を地域等に配布する。		カ	人口
			単位
		キ	市道路線数
		ク	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
市民		名称	
		サ	設置済防犯灯累計数
			単位
		シ	防犯灯設置対応率(設置数/要望数)
		ス	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)			
犯罪から守られる。			
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
犯罪が起きにくい環境となっている。			

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業費	財源内訳	単位	年度						
				2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(目標)	6年度(目標)	7年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
		都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0	0		
		その他	千円	0	0	0	0	0		
		一般財源	千円	491	581	598	600	600	600	
	事業費計(A)		千円	491	581	598	600	600	600	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	40	40	40	40	40	40	
		人件費計(B)	千円	160	160	160	160	160	160	
		トータルコスト(A)+(B)		千円	651	741	758	760	760	760
⑤活動指標		ア	件	47	75	71	71	71		
		イ	灯	47	75	71	71	71		
		ウ								
⑥対象指標		カ	人	34,796	33,948	33,540	33,534	33,529	33,527	
		キ	路線	1,483	1,484	1,482	1,485	1,485	1,485	
		ク								
⑦成果指標		サ	灯	1,726	1,801	1,872	1,943	2,014	2,085	
		シ	%	100	100	100	100	100	100	
		ス								

事務事業ID	0659	事務事業名	防犯灯設置事業
--------	------	-------	---------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	昭和45年の岩手国体を契機に東北電力(株)が「街を明るくする運動」の一環として自治体への防犯灯寄贈をスタートした。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	近年、全国的に子供が被害者となる事件が多発している。基本的に防犯は地域主体となることが望ましいが、高齢者が増える中で地域の負担は年々増加している。少ない世帯数(人員)で広い地域こそ防犯対策を必要としており、地域運営上の財政負担の差も小さくない。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	地域住民の負担軽減を図るため、維持・補修も市で行ってほしい等の意見・要望が寄せられている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ▽ 理由・内容 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつかか？意図することが結果に結びついているか？ 防犯灯を設置し、犯罪を起こしにくい環境とすることは、安全なまちづくりの推進に結びついている。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ▽ 理由・内容 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 地域団体の財政的負担の軽減ができる。また、ある程度の数量を一度に設置することによって、地域で少量設置するよりも割安である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ▽ 理由・内容 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 街路に防犯灯を設置することにより、市民が犯罪に巻き込まれる要因が減るので適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない ▽ 理由・内容 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 設置については、夜の犯罪増加に鑑み、要望に対して100%応える必要がある。近年は希望した全ての地域に配布できているが、既存の防犯灯の修繕、取替えには対応していないため、今後はあるものを活かす方法も考えていくべき。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある ▽ 理由・内容 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 防犯灯設置が進まず、犯罪を起こしにくい環境づくりが遅れる。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ▽ 理由・内容 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 要望に対して最小限の費用で設置しているため、削減の余地はない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ▽ 理由・内容 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 各町防犯協会や大船渡市防犯協会連合会などへの補助金や委託料として支出することも考えられるが、事務局の体制上、現実的には無理と思われるので削減の余地はない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ▽ 理由・内容 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 全地域代表者、及び教育委員会を通じて市内全小中学校に設置要望の照会をしているので、公平・公正である。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果	(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																							
1 現状維持	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×	現状維持で継続して事業を実施する。
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		●	×																					
	低下		×	×																					
※(1)改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入。 (現状維持の場合、コスト及び成果は「維持」) (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																									

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
1 現状維持	岩手県が整備を進めてきた県道及び主要地方道が供用を開始することにより、これら道路への道路照明の設置要望が多い。道路照明については、道路管理者である岩手県が対応しているところだが基数は少ない。そのため、市への防犯灯設置の要望が多くなってきた。その中には商用電源が供給されない箇所もあることから、ソーラー防犯灯の導入について研究しながら、当面は現状維持で事業を進めていく。